

研究結果

本研究では中国自動車産業における国際化の条件について検討した。

中国の自動車産業は主要輸出産業までに成長するためには、多国籍企業の生産拠点の再編成と、効率的な生産システムの構築による国際競争力の強化という2つの条件が必要となる。本研究は以上の2つの条件を中心に解明してきた。

まず、中国の第一汽車、東風汽車、北京汽車、奇瑞汽車、吉利汽車、東風ホンダ汽車、広州自動車、北京現代汽車、瀋陽華晨汽車、第一汽車四川トヨタ、東安エンジンなど中国の自動車合弁会社と民族系メーカーを調査し、中国自動車産業の生産システムの実態と競争力の現状を調べた。

次に、日本のトヨタ自動車、セントラル自動車、日野自動車、株式会社電装を訪問し、各会社の中国市場戦略と生産システムの実態を調査した。

最後に、ホンダ中国、日産中国、電装中国、日本自動車工業会北京事務所などを訪問し、中国における日本自動車メーカーの戦略と実態を把握した。

以上の調査により、世界自動車産業の価格競争がさらに激しくなる段階では、自動車メーカーが生産拠点を中国などコストの安い国に集中する可能性があるが、現時点では、「市場のあるところで生産する」という基本戦略は、変更がないことを判明した。

生産システムの面では、合弁会社は合弁相手の外国企業側の生産システムを導入し、民族系メーカーは外国人スタッフを工場長として雇うなどの形で、日本やドイツなど先進国自動車メーカーの生産システムを導入している。しかし、外国メーカーと比較すると、労働生産性はまだ低く、外国から導入された生産システムはまだ完全に機能していないのが実態である。

自動車産業を輸出産業までに成長させるためには、企業の競争力は決め手である。中国自動車産業の競争力強化は、研究開発能力の向上と部品産業の育成は今後の主な課題である。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

「中国自動車産業の競争力」・王保林・中国自動車研究会(中国人民大学と日本産業経済学会主催、日本自動車工業会共催)・2009年8月24日

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「中国汽車産業の競争力分析(中国自動車産業の競争力分析)」・王保林、張曦・管理世界・2009年第5期号

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)